

癒やしの旅



前島に残る大坂城の石材を切り出した採石場跡

ここに立つと、景色を見るのに夢中になり、時がたつのを忘れてしまう。そう感じる人は多いのではないか。

岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓の丘陵地に広がる牛窓オリーブ園。頂からは瀬戸内海に小豆島、果ては高松市の屋島まで見渡せる。

「天気がいいと、四国連山や明石大橋、兵庫県の家島諸島も眺められます」。牛窓オリーブショップの松本充貴店長(25)は目を輝かせた。

温暖な気候に、オリーブ栽培、点在する島が織りなす多島美。「日本のエーゲ海」と称される景観を初めて目にしたのは32年前。就職して岡山に赴任した時だった。す



牛窓

岡山県瀬戸内市

ぐに気に入り、居を構えて22年がたった。

その間、西日本有数のヨットハーバーの整備が進み、瀟洒な外観のホテルなどが相次いで開業し、リゾート地としての人気を、さらに高めた。転動で離れても、目前に広がる海は変わることなく、戻って来る私を迎えてくれた。

◇ まちの歴史は古い。牛窓という、ちょっと変わった地名は「万葉集」にも詠まれ、由来は「古事記」や「日本書紀」に登場する神功皇后にまで遡る。

皇后を乗せ、穏やかな瀬戸内海を進む船の前に、大きな牛鬼が立ちほだかった。このままだと転覆

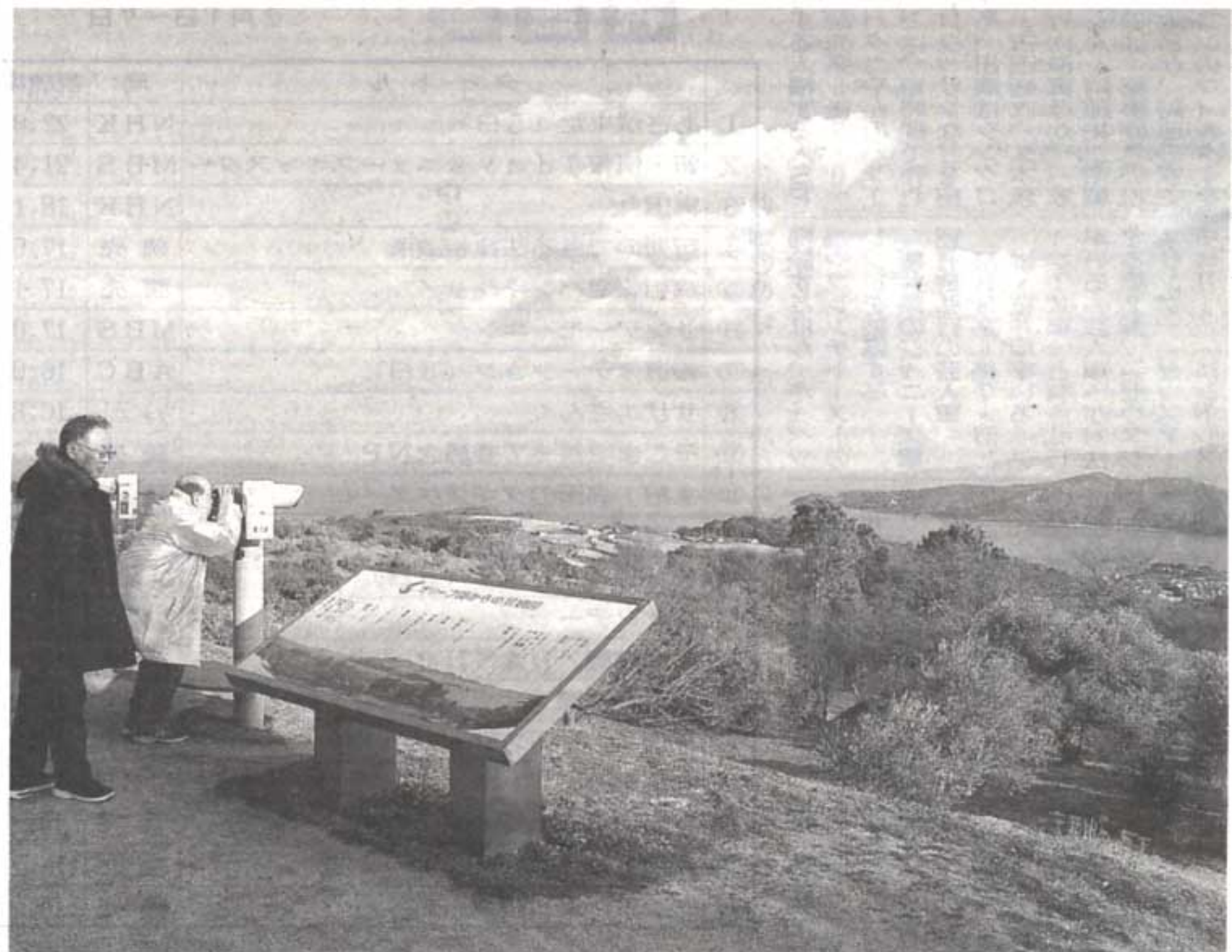
中心部を走る「しおまち唐琴通り」を歩けば、様々な時代の顔と出会える。東西に約1キロ。道幅は江戸時代のままという。立ち寄った本蓮寺は南北朝時代の創建。本堂と番神堂、中門は重文に指定されている。

近代建築も多い。1887年に警察署として建設された海遊文化館、1915年に建てられ、30年から80年まで中国銀行牛窓支店として使われた街角ミュージゼ牛窓文化館。ともに国の登録有形文化財になっている。

美しい景観とともに、歴史もまさに輝きを与えている。

◇ 牛窓港からフェリーで約10分。

不変「日本のエーゲ海」



牛窓オリーブ園の山頂からは、四国から関西まで見渡せる



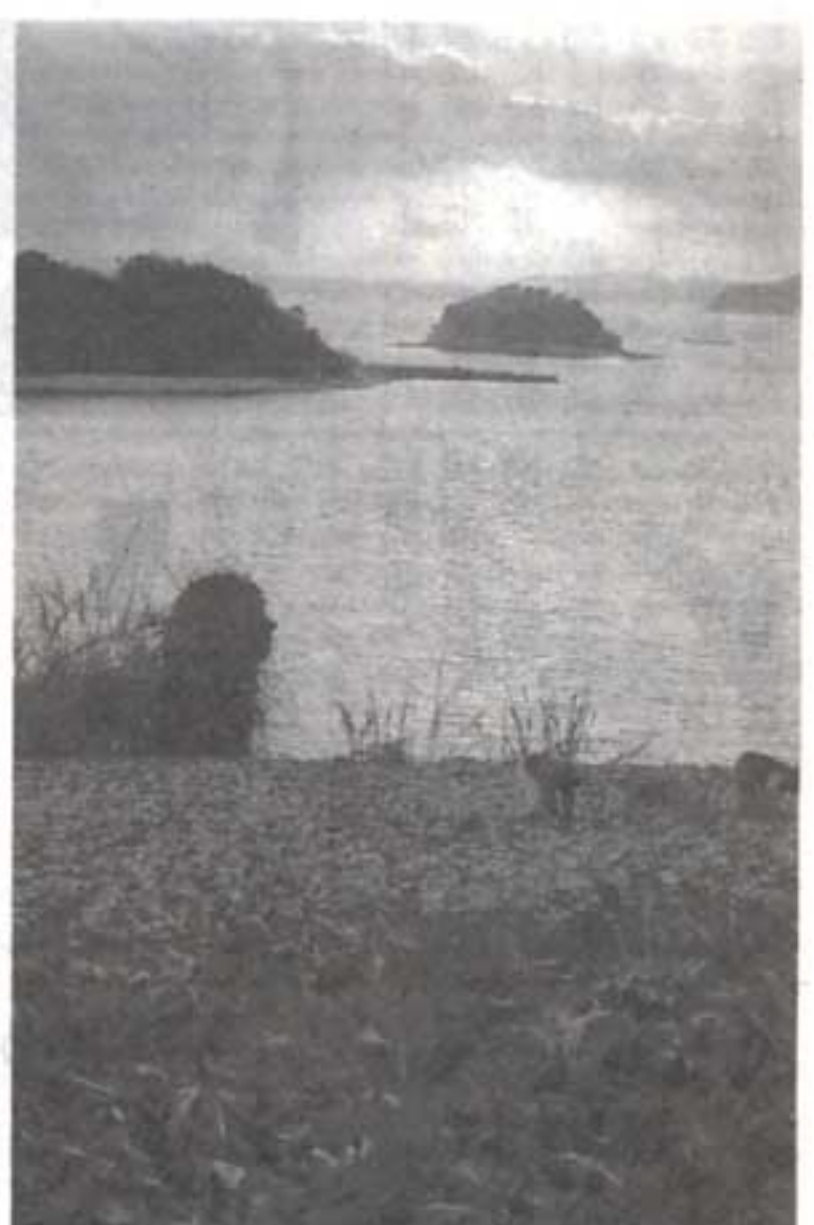
してしまう。その時、老人に姿を変えた住吉明神が、牛鬼の角を持って投げ飛ばした。そして、牛がひっくり返った「牛転び」が転じて「牛窓」となったと、諸説はあるが、町史にはそう記されている。

前島で降り、車を走らせた山中で巨石に遭遇する。大坂夏の陣で落城した大坂城を、江戸幕府が再築する際に石材を切り出した採石場の跡だ。

中には、使われずに放置された「残念石」もある。どうやって切り出し、運んだのだろう。先人の知恵と技術に思いをはせる。黙して語らない遺物との対話に、想像力は欠かせない。

フェリー乗り場から10分ほど歩いた高台。夕日に染まる海を眺めながら、本蓮寺の円成昭龍住職(41)の言葉を思い返した。「創建当時のご本尊、江戸時代の朝鮮通信使の漢詩書軸など、寺に残る文化財を後世に伝えるのが、私の役割です」。歴史を守る人たちの存在も、私をここに引きつける。

(岡山支局 水原靖)



瀬戸内海に沈む夕日。ロマンチックなひとときを過ごす「牛窓デート」も人気だ

デート催し参加を

瀬戸内市観光協会長
石田 一成さん(61)



古くは「潮待ち、風待ち」の港町として栄え、今村昌平監督の「カンゾー先生」、ドラマ「蜜の味〜A Taste Of Honey〜」など約30本の映画やドラマ、CMのロケが行われました。「恋人の聖地」「日本の夕陽百選」に選ばれ、7年前に「牛窓デート」というイベントを始めました。冬は夕焼けがきれいなので、ぜひ、参加して下さい。

ガイド 車なら岡山ブルーライン・邑久インターチェンジから約15分、電車ならJR赤穂線邑久駅から東備バスで約30分。前島では20日、夕日の絶景ポイントを散歩するイベント「牛窓デート」が開かれる。無料で申し込み不要。希望者は午後2時半、フェリー乗り場前の市観光センター「瀬戸内きりぎり館」に集合する。問い合わせは牛窓町観光協会(086-9-34-9500)。